

# 宮城県商工会 地区中小企業景況調査報告書

2019年4月～6月期

## 目 次

1. 県下産業全体の景況 .....	2
(1) 主要景況項目のあらまし .....	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし .....	3
(3) 今後の見通しについて .....	4
2. 県下産業別の景況 .....	5
(1) 製造業の動向 .....	5
(2) 建設業の動向 .....	8
(3) 小売業の動向 .....	11
(4) サービス業の動向 .....	14

2019年7月

宮城県商工会連合会

# 中小企業景況調査報告書

2019年4月～6月

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、くろかわ商工会、加美商工会、遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、石巻かほく商工会、本吉唐桑商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 145企業

### 2. 調査対象期間

2019年4月～6月期を対象として、調査時点は2019年6月1日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業種	企業数
製造業	31
建設業	26
小売業	41
サービス業	47
合計	145

### 5. その他

本報告書中のDIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期(2019年4月～6月期)の調査において、産業全体(全産業)の業況D I(前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より△7.2ポイントの悪化で△42.6(前期△35.4)となった。産業別にみると、製造業が△48.4(前期△26.6)と△21.8ポイント悪化、建設業で△34.6(前期△42.4)と7.8ポイント改善、小売業で△73.2(前期△52.3)と△20.9ポイント悪化、サービス業では△15.6(前期△20.5)と4.9ポイントの改善となった。

来期見通しについては、産業全体(全産業)としては改善の見通しである。産業別にみると、製造業、小売業、サービス業については改善の見通し、建設業については悪化の見通しである。

表一1 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 35.4	△ 42.6	△ 35.9
製造業	△ 26.6	△ 48.4	△ 42.0
建設業	△ 42.4	△ 34.6	△ 38.5
小売業	△ 52.3	△ 73.2	△ 56.2
サービス業	△ 20.5	△ 15.6	△ 11.4

### ② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業では12.9%で前期比△2.7ポイント減少、建設業では15.4%で前期比3.9ポイント増加、小売業では4.9%で前期比0.4ポイントの若干の増加、サービス業では13.0%と前期と同じであった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べ製造業では横ばい、建設業、小売業で増加、サービス業では減少となっている。

表一2 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

業種	前期	今期	来期計画
製造業	15.6	12.9	12.9
建設業	11.5	15.4	19.2
小売業	4.5	4.9	9.8
サービス業	13.0	13.0	10.9

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

2019年6月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（D I）は前期（2019年3月調査）と比較して、製造業が△7ポイント悪化のマイナス1、非製造業は△2ポイント悪化のプラス10だった。先行きは製造業、非製造業共に今期に比べ悪化を見込んでいる」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では製造業で改善、建設業で横ばい、小売業、サービス業で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額D I比較では、製造業では全国以下、東北以上、建設業・小売業・サービス業では全国・東北以下であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 18.4	△ 15.3	△ 38.0	△ 31.1	△ 40.6	△ 28.9
建 設 業	△ 3.1	△ 2.2	△ 28.5	△ 20.2	△ 42.3	△ 42.3
小 売 業	△ 37.9	△ 29.8	△ 47.0	△ 42.6	△ 47.7	△ 65.8
サービス業	△ 21.3	△ 12.8	△ 34.7	△ 26.9	△ 15.2	△ 27.7

### ② 採 算

宮城の今期の採算D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では、製造業・小売業で悪化、建設業・サービス業で改善となった。

今期の宮城の全国・東北との採算D I比較では、製造業・建設業・小売業では全国・東北以下、サービス業で全国以下、東北以上であった。

表－4 採算の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 21.1	△ 20.4	△ 33.0	△ 37.0	△ 34.3	△ 45.1
建 設 業	△ 10.0	△ 8.2	△ 24.3	△ 18.2	△ 42.3	△ 34.7
小 売 業	△ 33.0	△ 31.6	△ 41.3	△ 40.9	△ 52.3	△ 67.5
サービス業	△ 26.6	△ 19.8	△ 35.5	△ 29.5	△ 27.2	△ 23.9

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2019年7月～9月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で△13.0ポイントの悪化、建設業で3.8ポイントの改善、小売業で7.3ポイントの改善、サービス業でも10.7ポイントの改善の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で△6.6ポイントの悪化、建設業で7.8ポイントの改善、小売業で15.0ポイントの改善、サービス業で10.9ポイントの改善見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上は全国で若干の悪化、宮城で悪化、採算では全国で改善、宮城で悪化の見通しとなった。建設業では売上は全国で悪化、宮城で改善、採算も全国で悪化、宮城で改善の見通しとなった。小売業では売上は全国で悪化、宮城で改善の見通し、採算では全国、宮城で共に改善の見通しとなった。サービス業でも売上は全国で悪化、宮城で改善の見通し、採算では全国、宮城で共に改善の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 15.3	△ 15.8	△ 28.9	△ 41.9
建 設 業	△ 2.2	△ 8.8	△ 42.3	△ 38.5
小 売 業	△ 29.8	△ 31.3	△ 65.8	△ 58.5
サービス業	△ 12.8	△ 14.5	△ 27.7	△ 17.0

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 20.4	△ 18.7	△ 45.1	△ 51.7
建 設 業	△ 8.2	△ 11.1	△ 34.7	△ 26.9
小 売 業	△ 31.6	△ 30.1	△ 67.5	△ 52.5
サービス業	△ 19.8	△ 18.1	△ 23.9	△ 13.0

## 2. 県下産業別の景況

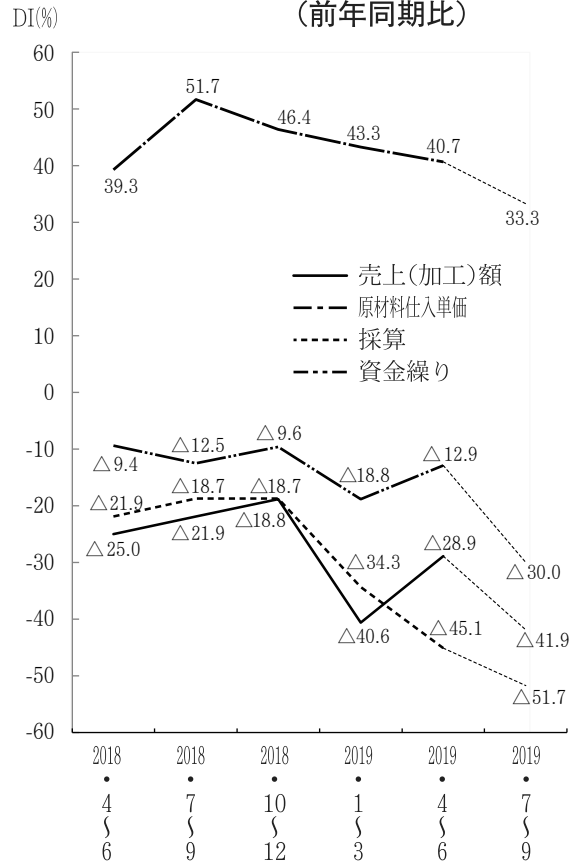
### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△28.9（前期△40.6）となり11.7ポイント前期より改善、採算D Iは今期△45.1（前期△34.3）で△10.8ポイント悪化、資金繰りD Iでは今期△12.9（前期△18.8）で5.9ポイント改善した。

原材料仕入単価は今期40.7（前期43.3）と△2.6ポイント下落した。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



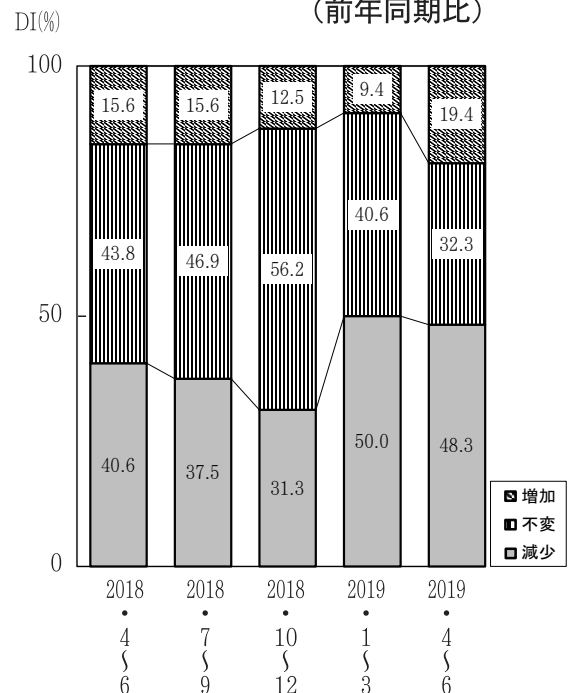
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の19.4%（前期9.4%）と10.0ポイント増加、「減少」と回答した企業は48.3%（前期50.0%）と△1.7ポイント減少した。

その結果、売上（加工）額D Iは△28.9（前期△40.6）となり前期比11.7ポイント改善した。

図1-2 売上(加工)額の状況  
(前年同期比)

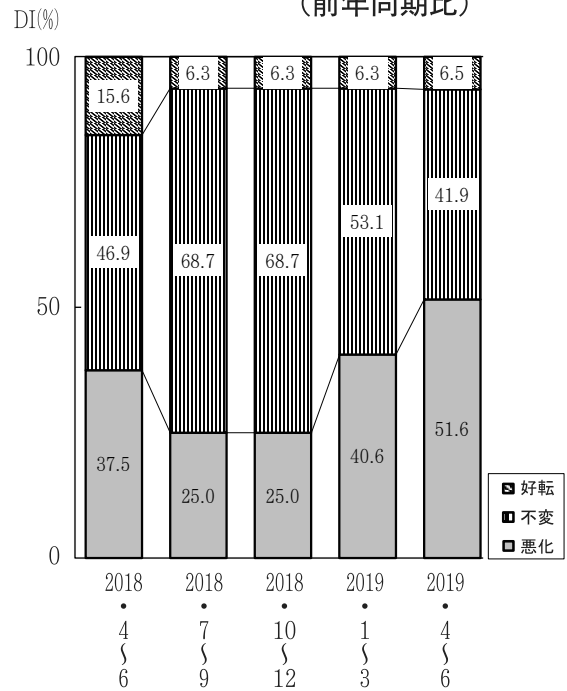


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 6.5% (前期 6.3%) で 0.2 ポイント増加、「悪化」と回答した企業は 51.6% (前期 40.6%) で 11.0 ポイント増加した。

その結果、採算DIは△45.1 (前期△34.3) で前期より△10.8 ポイント悪化した。

図 1 - 3 採算の状況 (前年同期比)



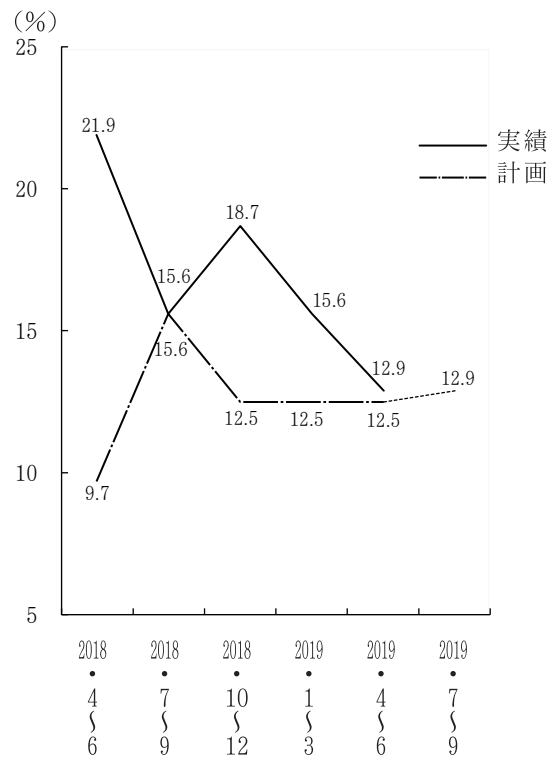
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は全体の 12.9% (前期 15.6%) で、前期と比べ△2.7 ポイント減少した。

その設備内容は、工場建物、生産設備であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 12.9%で、その設備内容は、生産設備、車両・運搬具、OA機器となっている。

図 1 - 4 設備投資の状況

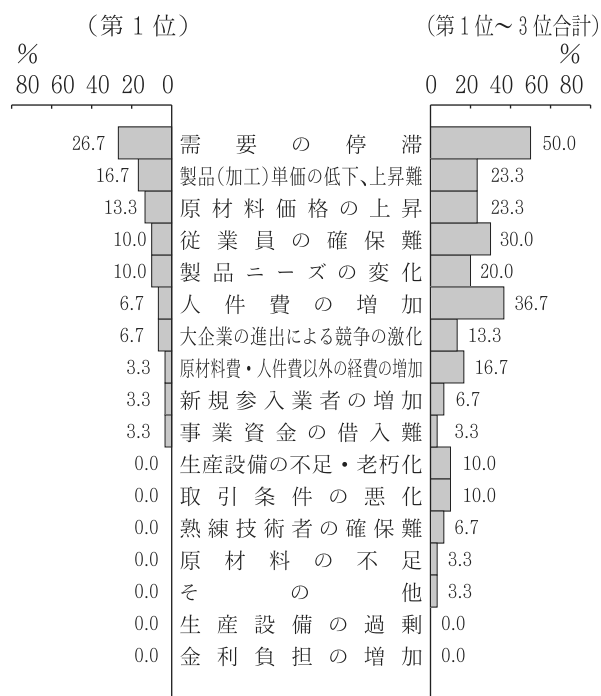


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「需要の停滞」で26.7%、次いで「製品（加工）単価の低下、上昇難」が16.7%、「原材料価格の上昇」が13.3%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「需要の停滞」が50.0%（複数回答計、以下同じ）で最上位、次いで「人件費の増加」が36.7%、「従業員の確保難」が30.0%で続いた。

図1-5 経営上の問題点



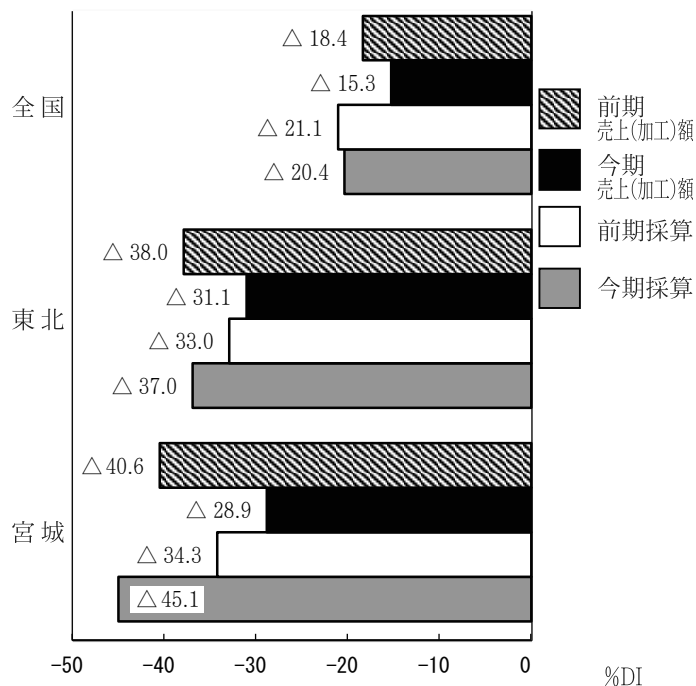
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上（加工）額DIでは全区分で改善した。その改善度は、宮城、東北、全国の順であった。

採算DIの比較では、全国で若干の改善、東北、宮城で悪化した。その悪化度は、宮城、東北の順であった。

本県回答事業者からは「自動車関係は車種によって生産変動が大きく全体的に減産傾向だが、今後に期待」（自動車関連製品業）や、「米中の経済摩擦がエスカレートする中、生産設備への投資を抑えていると思われる」（金属加工業）などのコメントがあった。

図1-6 全国東北宮城売上（加工）額・採算比較（前年同期比）





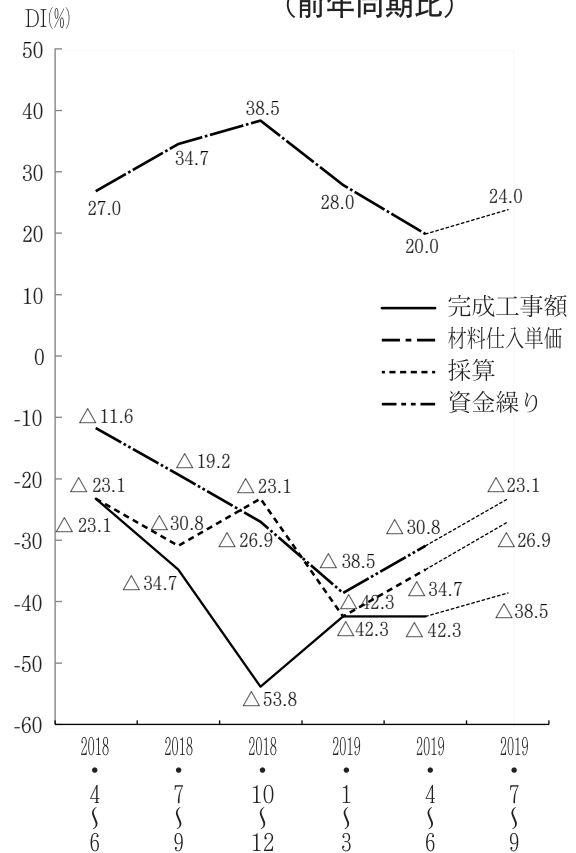
## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△42.3（前期△42.3）と横ばい、採算D Iは今期△34.7（前期△42.3）で7.6ポイント改善、資金繰りD Iも今期△30.8（前期△38.5）と7.7ポイント改善した。

材料仕入単価D Iは今期 20.0（前期 28.0）と前期より△8.0ポイント下落した。

図 2 - 1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



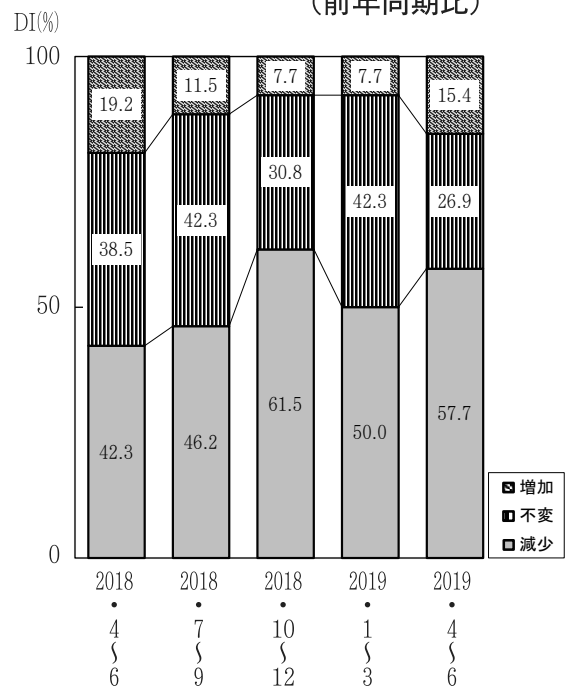
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の 15.4%（前期 7.7%）で 7.7ポイント増加、「減少」と回答した企業も 57.7%（前期 50.0%）で 7.7ポイント増加した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△42.3（前期△42.3）と横ばいであった。

図 2 - 2 完成工事額の状況  
(前年同期比)

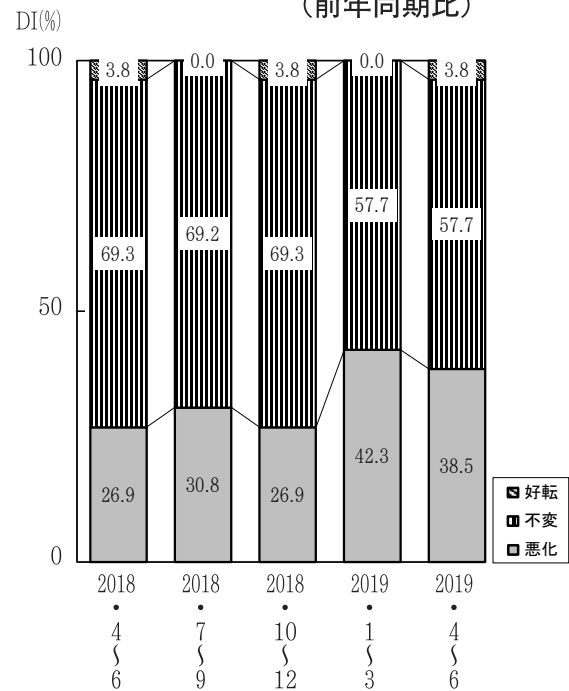


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 3.8% (前期 0.0%) で 3.8 ポイント増加、「悪化」と回答した企業は全体の 38.5% (前期 42.3%) で△3.8 ポイント減少した。

その結果、採算DIは△34.7 (前期△42.3) と前期より 7.6 ポイント改善した。

図 2 - 3 採算の状況  
(前年同期比)



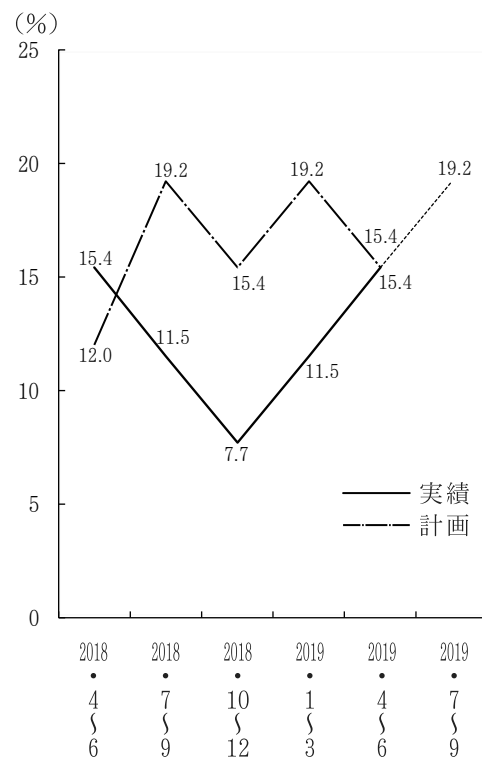
### (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は全体の 15.4% (前期 11.5%) で、前期より 3.9 ポイント増加した。

その設備内容は、建設機械、車両・運搬具、OA機器、福利厚生施設、その他であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 19.2%で、その設備内容は、土地、建物、建設機械、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、福利厚生施設、その他となっている。

図 2 - 4 設備投資の状況

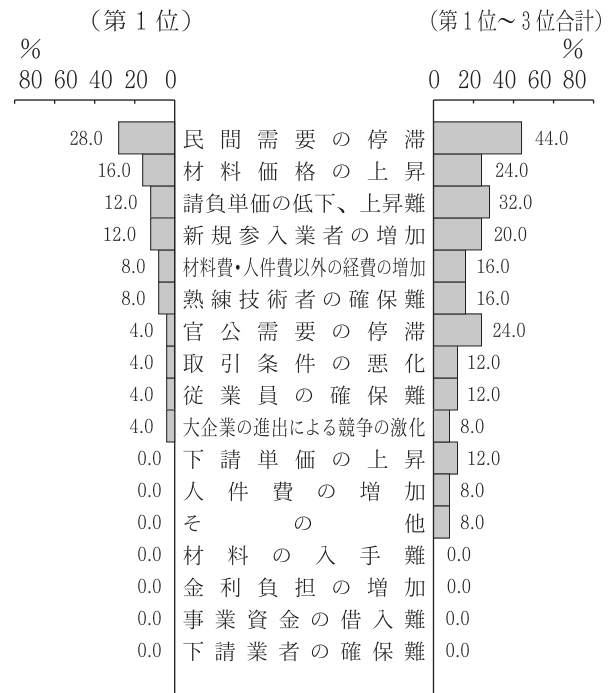


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「民間需要の停滞」が28.0%で、次いで「材料価格の上昇」が16.0%、「請負単価の低下、上昇難」と「新規参入業者の増加」が同率12.0%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「民間需要の停滞」が44.0%（複数回答計、以下同じ）で最上位、次いで「請負単価の低下、上昇難」が32.0%、「材料価格の上昇」と「官公需要の停滞」が同率24.0%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

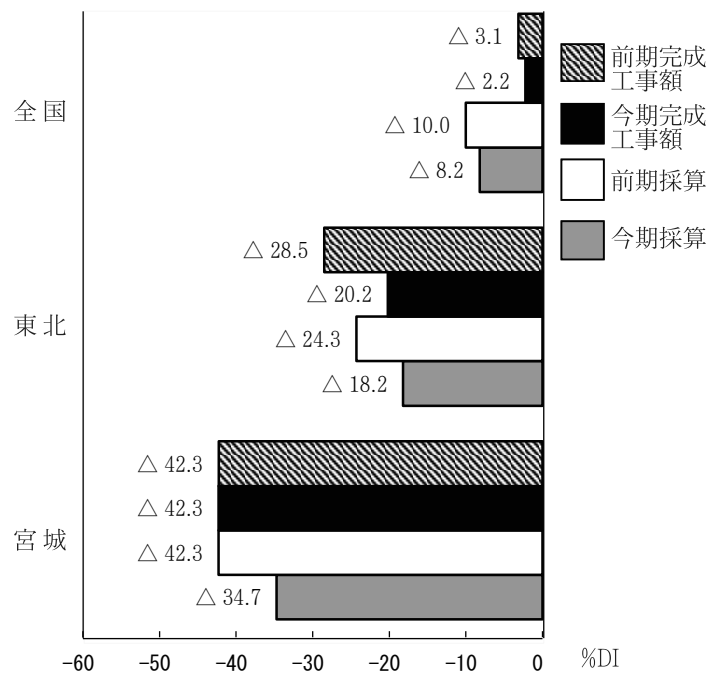
今期と前期との比較では、完成工事額D Iは全国で若干の改善、東北で改善、宮城で横ばいであった。

採算D Iの比較では、全区分で改善した。

その改善度は宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは「事業主の子息に現場作業を担わせ、事業承継につなげていく」や「震災工事が一段落したことから請負工事が減少しつつある」などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



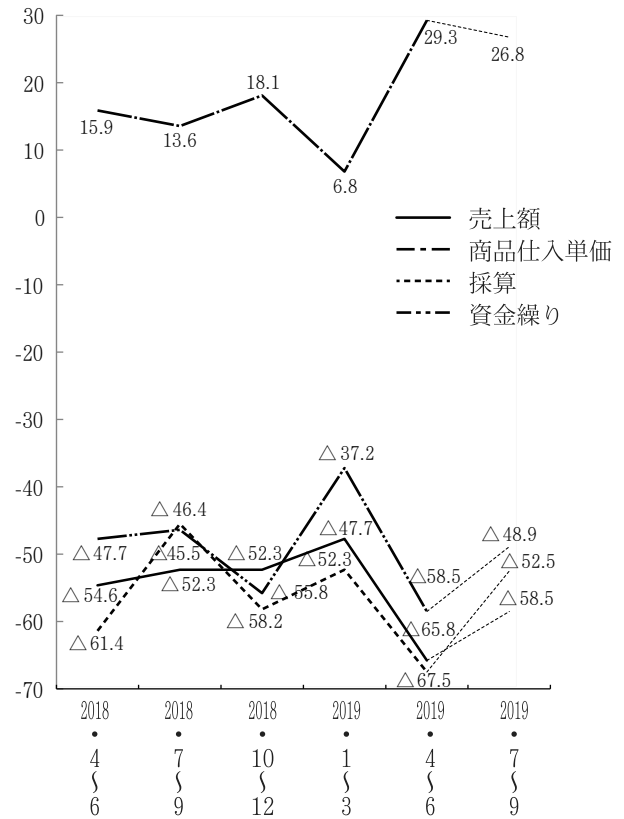
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△65.8（前期△47.7）と前期より△18.1ポイント悪化、採算D Iも今期△67.5（前期△52.3）で△15.2ポイント悪化、資金繰りD Iでも今期△58.5（前期△37.2）で△21.3ポイント悪化した。

商品仕入単価D Iは今期 29.3（前期 6.8）となり、22.5ポイント上昇した。

図3-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



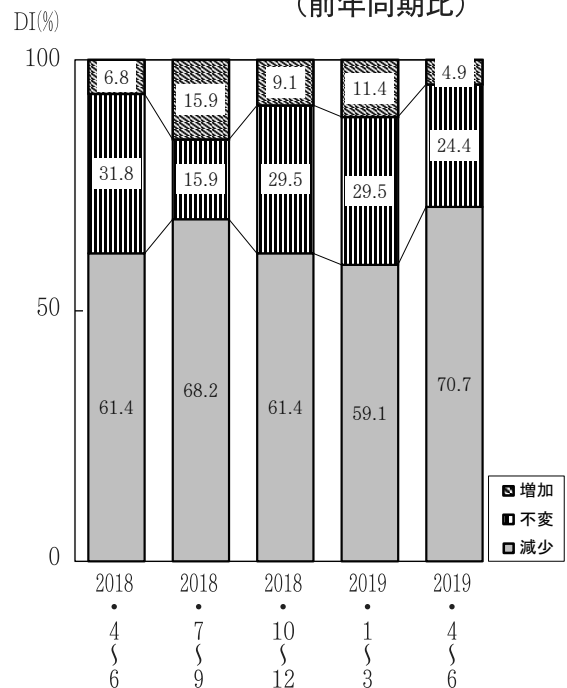
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の4.9%（前期11.4%）で△6.5ポイント減少、「減少」の回答は、今期は全体の70.7%（前期59.1%）で11.6ポイント増加した。

その結果、売上額D Iは今期△65.8（前期△47.7）と前期より△18.1ポイント悪化した。

図3-2 売上額の状況  
(前年同期比)

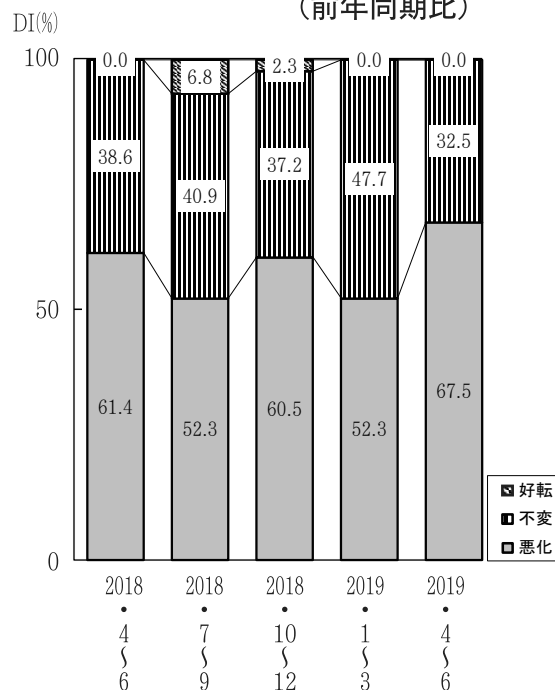


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の0.0%（前期0.0%）と横ばい、「悪化」の回答は、今期は全体の67.5%（前期52.3%）で15.2ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△67.5（前期△52.3）で、前期より△15.2ポイント悪化した。

図3-3 採算の状況  
(前年同期比)



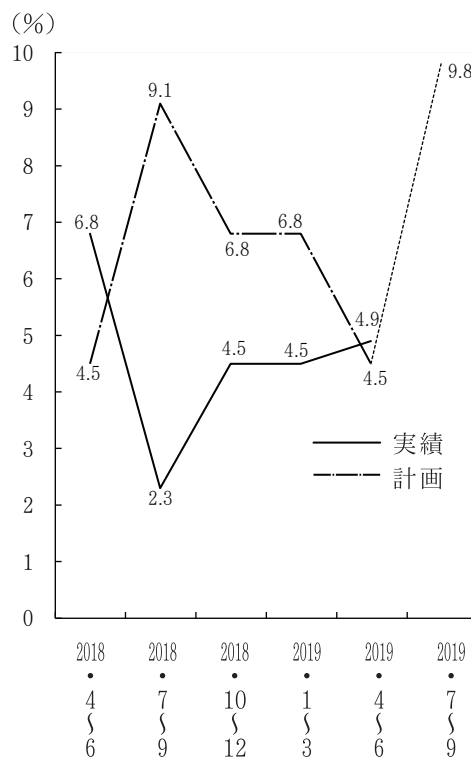
### (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の4.9%（前期4.5%）で、前期より0.4ポイント増加した。

その設備内容は、店舗、販売設備、車両・運搬具、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の9.8%で、その設備内容は、店舗、販売設備となっている。

図3-4 設備投資の状況

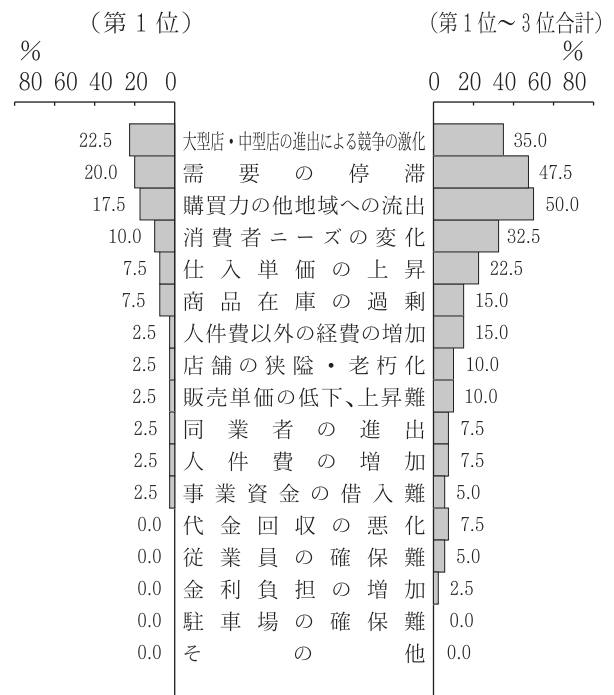


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「大型店・中型店の進出による競争の激化」で22.5%、次いで「需要の停滞」が20.0%、「購買力の他地域への流出」が17.5%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「購買力の他地域への流出」が50.0%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」が47.5%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が35.0%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

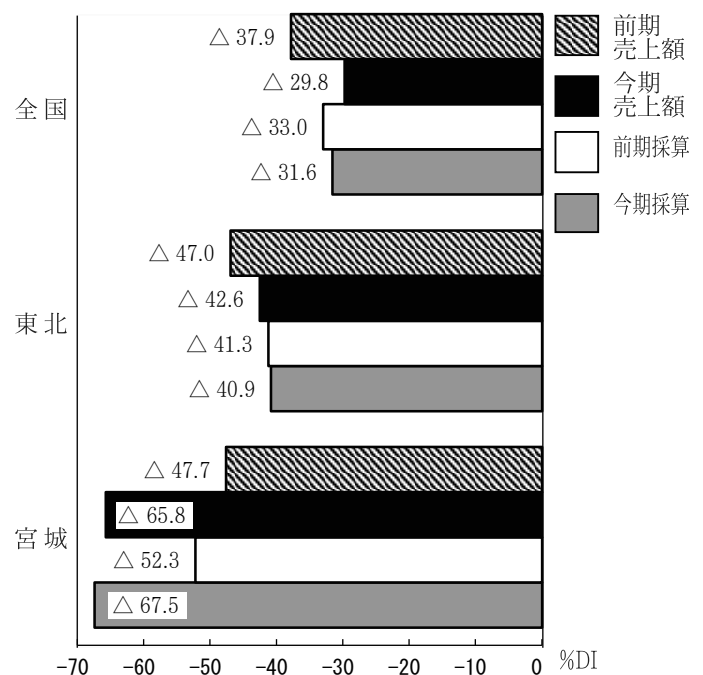
今期と前期の比較では、売上DIは全国・東北で改善、宮城では悪化した。

その改善度は全国・東北の順であった。

採算DIでは全国で改善、東北で若干の改善、宮城では悪化した。

本県回答事業所から「出店依頼が増えているものの、資金繰りが思うようにいかずチャンスロスが続いている」（青果販売）や「店頭販売でなくネット販売への転換を考慮中」（金物販売）などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較（前年同期比）



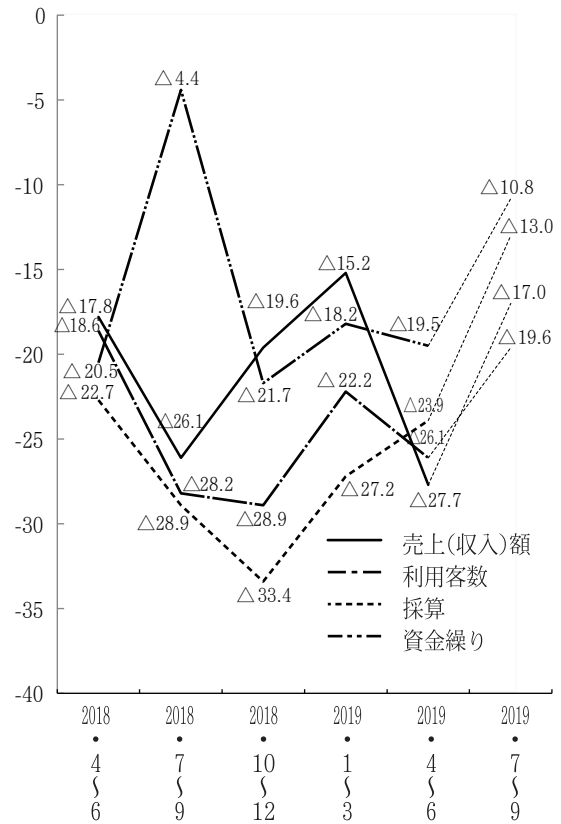
## (4) サービス業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額D Iは今期△27.7（前期△15.2）で△12.5ポイント悪化、採算D Iは今期△23.9（前期△27.2）で3.3ポイント改善、資金繰りD Iでは今期△19.5（前期△18.2）で△1.3ポイント悪化した。

利用客数D Iは今期△26.1（前期△22.2）で△3.9ポイント減少した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



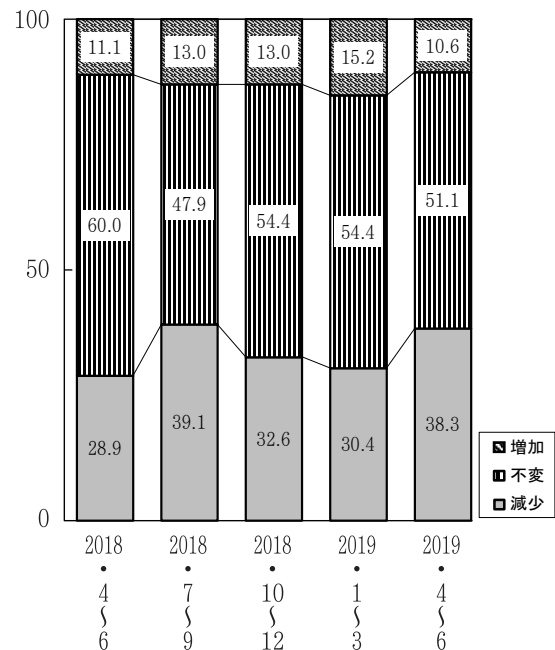
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の10.6%（前期15.2%）で前期より△4.6ポイント減少、「減少」の回答は今期38.3%（前期30.4%）で7.9ポイント増加した。

その結果、売上（収入）額D Iは今期△27.7（前期△15.2）で前期より△12.5ポイント悪化した。

図4-2 売上（収入）額の状況  
(前年同期比)

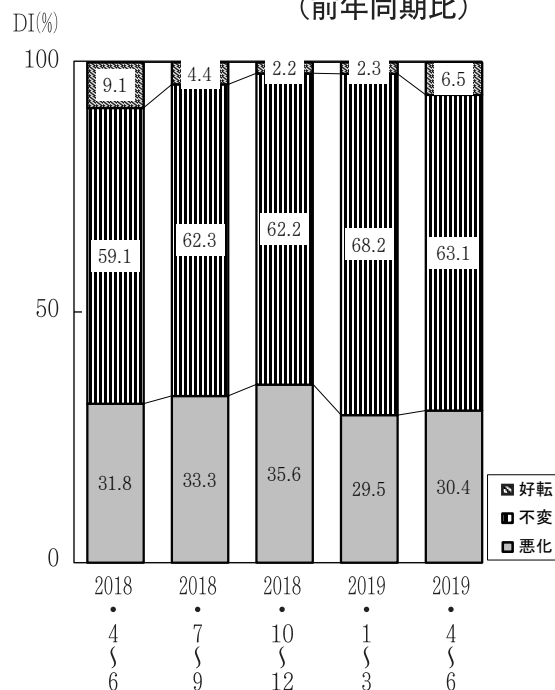


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の6.5%（前期2.3%）で4.2ポイント増加、「悪化」と回答した企業も今期30.4%（前期29.5%）と0.9ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△23.9（前期△27.2）で前期より3.3ポイント改善した。

図4-3 採算の状況  
(前年同期比)



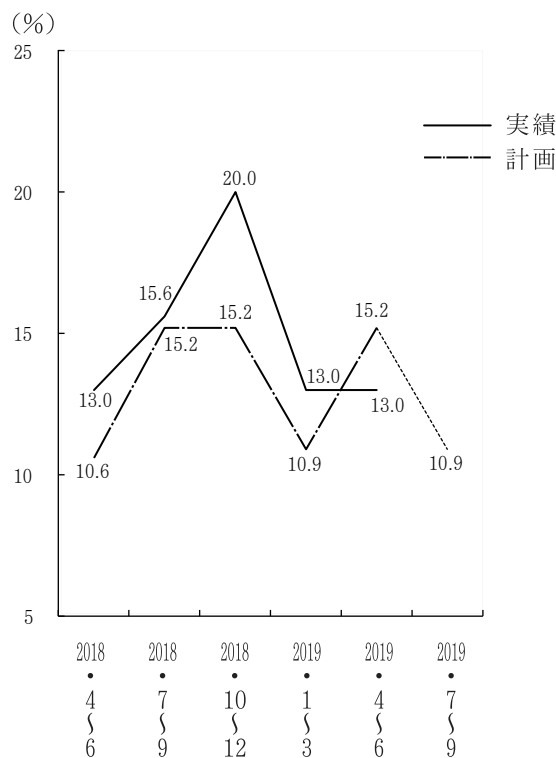
### (c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施（実績）した企業は全体の13.0%（前期13.0%）で、前期と同じ横ばいであった。

その設備内容は、建物、サービス、車両・運搬具、その他であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の10.9%であり、その設備内容は、建物、サービス、付帯施設、福利厚生施設、その他となっている。

図4-4 設備投資の状況



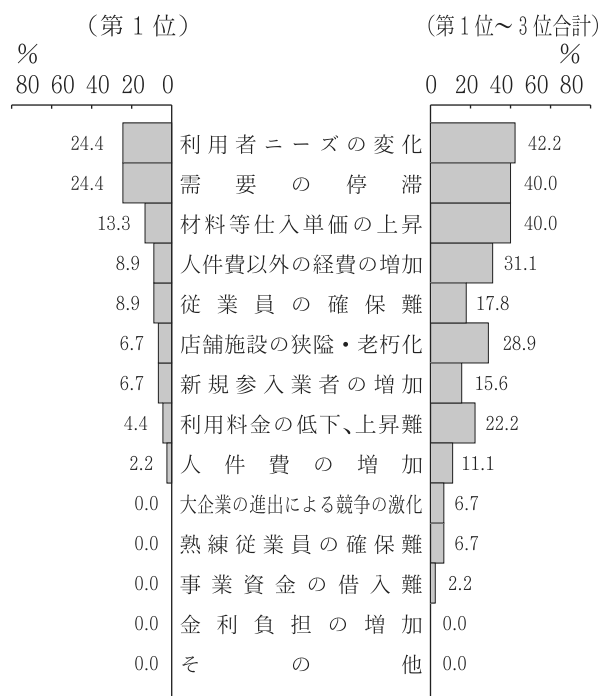


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「利用者ニーズの変化」と「需要の停滞」が同率で24.4%、次いで「材料等仕入単価の上昇」が13.3%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では「利用者ニーズの変化」が42.2%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」と「材料等仕入単価の上昇」が同率40.0%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

前期と今期の比較において、売上(収入)DIは全国と東北で改善、宮城では悪化した。

その改善度は全国、東北の順であった。

採算DIでは全区分で改善した。

その改善度は全国、東北、宮城の順であった。

本県回答事業所からは「従業員の働きやすい環境作りと新サービスメニューでリピーターを取り込む」（飲食業）や「店舗の改修でイメージアップし、今後に期待する」（美容業）などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)

